



# あやこ通信

2017年4・5月合併号 発行 日本共産党新潟市議会議員団

NO. 14 市議会報告 市議会議員 平 あや子

## 2月議会報告一①新潟市2017年度予算案について

今年度国家予算は軍事費に5兆円以上配分し、医療、介護など社会保障予算は「高齢化」による増加分さえ削減する、異常な軍拡優先、福祉破壊の予算です。2月議会では、新潟市の2017年度予算案が、地方自治体の本来の役割である「国の悪政から市民の暮らしを守る防波堤」の役割を果たしているかどうかを問われました。以下、共産党議員団の2017年度予算案に対する反対討論の一部を紹介します。

### 民生費の割合は依然として、政令市最下位レベル

民生費割合は今年度予算でも引き続き政令市20市で最下位レベルのまま。これを政令市の平均にまで引き上げるだけで、事業見直しで削減された高齢者福祉の事業の復活や、高すぎる国保料の引き下げなども十分可能です。

また、市民の健康・命にかかわる衛生費では、2016年度から60～69歳の各種がん検診を有料化したため、この年齢層ですべてのがん検診の受診率が減少しました。今年度予算でがん検診無料化を復活しないことは、健康寿命の延伸を掲げ、健幸都市づくりをめざす本市の方針に反するものです。



### 大型開発が民生費を圧迫

新潟駅周辺整備事業に81億7千万円、新潟中央環状道路に44億6千万円、万代島ルート線等の直轄事業負担金に14億8千万円など、大型開発事業に合計121億円が計上されています。昨年11月と今年2月の補正を合わせれば、実質175億円にもなり、前年度当初予算を大きく上回ります。今年度予算分だけでも土木費割合は15・8%で政令市トップクラスであり、これが民生費を圧迫していることは明らかです。大型開発を見直し、事業費を圧縮し、福祉や暮らし、地域密着型公共事業の予算に振りむけるべきです。

## 「水と土の芸術祭」、BRT推進の予算

「水と土の芸術祭2018」に3千万円、駅南北の一体的なバス交通をBRTで行うための「新たな交通システムの導入」の事業費に3千万円余が計上されていますが、いずれも市民からは批判が上がっている事業です。

BRTについて、新年度に連節バスをさらに4台購入することや、専用走行路の設置が見送られたことは、市民の批判の高まりの反映です。2019年度までに第1期完成としていた計画をやめ、「生活交通の確保維持・強化」にこそ抜本的に力を入れるべきです。

## ② 「万代島にぎわい空間」について一般質問で追及



市は「開港150周年に向けた機運醸成と新たなにぎわい空間を創出するため」として、万代島旧水揚場跡地に多目的広場を整備する7億7千万円余の予算を計上しました。

3月3日の本会議で、平あや子は、「万代島にぎわい空間」は2018年2月にオープン予定だが、18年度の水と土の芸術祭や19年度の開港150周年等のイベントが終わり、通常の年になってからの稼働率も収支の見通しもはっきりせず、一連のイベントのために急いでいるだけではないのかと指摘し、市の財政が厳しいと言いながら、見通しがはっきりしないものに、7億7千万円もの税金を使うことが、市民の合意を得られるのかと、市を追及しました。

● 5月臨時議会の日程  
5月17日(水) 本会議  
5月18日(木) 各常任委員会  
5月19日(金) 本会議(閉会)

● 6月議会の日程  
6月13日(火) から7月3日(月)までの21日間の会期で開催予定です。

### 生活相談 連絡先

市役所内 議員団控室

TEL 226-3450

くらしの何でも相談所

〒950-2037 西区大野157-1

TEL 264-5820

Fax 264-5831



このあやこ通信は政務活動費を活用しています。